

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年12月11日

計画の名称	尾鷲市における災害(さいがい)に強い(つよい)まちづくりの推進(すいしん)(防災・安全)												
計画の期間	令和06年度 ~ 令和10年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	尾鷲市												
計画の目標	<p>○津波避難タワーの整備・本市の第7次総合計画の中で、まちの将来像として「住みたいまち 住み続けたいまち おわせ」を掲げ、まちづくりの基本目標として「安全で快適に暮らせるまちを創る」その基本計画に基づく政策として「災害に強く、みんなに優しいまちづくり」推進しております。尾鷲市地域防災計画(令和5年2月修正)P29,第2章安全な避難空間の確保、第1節避難対策等の推進、第3項対策、1指定緊急避難場所の指定等、(2)津波避難ビルの指定等において市は、津波浸水予想図で浸水の可能性があると認められる地区で、高台等の避難場所がない地区について、ビル所有者との協定等による津波避難ビルの指定、津波避難施設の整備等を行う。としており、津波浸水想定内の避難困難者ゼロを目指し避難施設の整備を進めます。○避難路(橋梁)・津波避難タワー整備・現在整備中の国市浜公園内については、南海トラフ巨大地震が発生した場合、すぐに大津波が来襲すると想定されている中、「津波は逃げるが勝ち」の標語のもと、第7次尾鷲市総合計画には「災害に強く、みんなに優しいまちづくり」を掲げ、最大の減災効果が発揮できるよう、自助・共助・公助の有機的な連携による、円滑な避難のための様々な対策を推進しております。そのために、国市浜公園の津波に関する危険性の周知を注意喚起の看板を設置するなどして十分に行うとともに、公助による、円滑な避難のための避難路・津波避難タワーの整備を進めます。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	938	A	938	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)		
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値	
		当初現況値 令和6年	中間目標値
1	避難困難者ゼロを目指す	2587人	0人
	避難困難者ゼロを目指す		

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	○	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	尾鷲市	直接	尾鷲市	-	-	津波避難タワー(中井町地区、矢浜地区)・避難路整備(国市松泉町)	津波避難タワー・避難路整備	尾鷲市						938		未策定
												小計						938	
											合計						938		